

競技注意事項

1. 本大会は平成 28 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。
2. 練習およびウォームアップ場について
 - ① まわりには様々なスポーツ施設があるが勝手に立ち入って練習しないこと。競技場の付近か使っていないときのバックストレートで各自練習する事。その際運営に支障が出ないよう、けが・事故等の無いように細心の注意を払う事。万が一、負傷したとしても主催者は一切責任を負わない。
 - ② 1 日目は 8 時 30 分まで、2 日目は 8 時 45 分まで本競技場のトラックを使ってウォーミングアップをすることができる。ただし、準備に支障のないようにすること。
3. 大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場使用の注意
 - ① 開門時間は、両日とも 7 時 15 分とする。それ以前には立ち入らない。
 - ② バックスタンド以外での横断幕等の掲出を禁止する。掲出する場合は、必ずひもを使用し、ガムテープ等の使用を禁止する。
 - ③ 選手の本部前の通行は禁止する。
 - ④ トラック・フィールド内に立ち入っての応援は禁止する。
 - ⑤ 競技場内でテープ、マーカー等を使用した際は、必ず各自ではがすこと。
 - ⑥ スパイクで競技場内を通行するのは厳禁とする。
 - ⑦ 貴重品の管理は各大学および各個人が責任を持って行うこと。競技場内において盗難等が発生しても主催者は責任を負わない。
 - ⑧ 競技場は全天候舗装であるため、スパイクのピンは 9mm 以下の全天候舗装用を使用すること。(但し、走高跳・やり投は 12mm 以下まで使用可)
 - ⑨ ごみ袋を配布するので清掃を徹底して確実に言い、ごみは各大学が責任を持って持ち帰ること。
 - ⑩ 近隣住民から苦情が来るので楽器等を使った応援は厳禁とする。
4. 招集について
 - ① 招集所は、北門側(100m スタート側)付近のゲートに設置する。
 - ② 競技日程を確認し、遅れることなく招集を受けること。
 - ③ 招集にて、役員の点呼(ナンバーカード、腰ナンバーカード、スパイクのピンの確認)を受けること。
 - ④ 招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
 - ⑤ 複数種目に参加する競技者で招集時間が重なる場合は、他種目同時出場届(招集所に用意)に記入して競技前までに招集所に提出すること。
 - ⑥ リレーのオーダー用紙の提出は招集完了時刻 60 分前とする。なお、これは招集ではないので招集時間になったら、召集所にて 4 人そろって招集を受けること。なお、オーダー用紙は代表者会議にて配布する。
 - ⑦ オーダー用紙提出後けが等により出場が難しい選手が現れた場合、医務員の診断が確認できた場合に限り選手変更を可能とする。

5. 選手変更・棄権について

- ① 対校の部における補欠との選手変更・棄権については、代表者会議において決定する。オープンの部における棄権については、7月29日までに判明している場合は、7月29日18時までメールにて受け付ける。
- ② 当日の選手変更は認めない。
- ③ やむを得ず当日棄権する場合は、棄権届けを本部にて受け取り、招集開始前までに必ず本部と競技者係に提出すること。

6. 競技の抽選、番組編成について

- ① 同タイムの場合は、着差が1000分の1秒まであればそれにより決定する。着差もなく同着の場合は抽選により決勝進出者を決定する。
- ② 抽選は番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。アナウンス後10分以内に記録室へ集合する。連絡なく集合しない場合は棄権したものと判断する。
- ③ 進出決定の発表は、アナウンスおよび記録掲示板に掲示する。

7. ナンバーカードについて

- ① ナンバーカードは各大学で用意したものを使用する。また、跳躍種目に出場する競技者は、胸、背のいずれかにつければよい。ただし3000m, 5000m, 5000mWについては、専用のゼッケンを着用する。このゼッケンは主催者が用意する。
- ② トラック競技はレーンナンバーによる腰ナンバーカードを使用する。ランニングパンツの右横や後方に明確に数字が読めるようにつける。腰ナンバーカードは招集所にて貸し出すので、レース終了後フィニッシュ地点にて係員に返却する。

8. 用器具について

- ① 競技用器具は競技場備え付けのものを使用すること。ただし、棒高跳用ポールとやり投用のやりは各自のものを使用できる。
- ② やり投において、個人所有のやりを使用する場合は、検定を受けなければならない。検定は競技開始1時間前までに競技役員が行う。

9. トラック種目について

- ① 400mまでのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も他の競技者の安全のために、自分に割り振られたレーンに沿って減速し止まる。
- ② 4×400mRの第3、第4走者は審判員の指示に従い、前走者が200mスタート地点を通過した順序で、内側より並び待機する。その後、この順序を変えてはならない。

10. 中長距離種目について

- ① 本年度においては、女子800mは各レーンに2人ずつはいつて最初の100mをセパレートで行う方式で実施する。来年度以降については女子主将会議で決定する。
- ② オープンの部5000mは参加人数によりグループスタートとする場合がある。
- ③ 対校の部、オープンの部ともに長距離種目(5000m, 3000m, 5000mW)では天候によって給水をバックストレートに設置する。

11. 跳躍種目について

- ① バーの上げ方は下記の通りとする。ただし、代表者会議で変更する場合がある。

種目	練習	バーの上げ方
男子走高跳	1m70	1m70- (5cm きざみ) -1m95- (3cm きざみ)
男子棒高跳	3m00、3m60、4m20	3m60- (20cm きざみ) -4m20- (10cm きざみ)
女子走高跳	1m30	1m30- (5cm きざみ) -1m55- (3cm きざみ)

- ② 棒高跳の支柱の移動については自分が希望する支柱の位置を競技開始前に担当審判員に申し出ること。
- ③ 三段跳は12mの踏切板を使用する。
- ④ 走高跳と棒高跳を除き、対校の部では3回試技を行い、上位8名がさらに3回試技を行う。オープンの部の試技数は3回までとする。

12. 投擲種目について

- ① 対校の部では3回試技を行い、上位8名がさらに3回試技を行う。オープンの部の試技数は3回までとする。

13. 表彰及び対校得点について

- ① 対校の部の各種目3位までの入賞者には賞状を授与する。
- ② 表彰を競技場正面スタンド前で行う。該当者はアナウンスや表彰係の指示に従うこと。該当者が競技等のため表彰に出られない場合は必ず代理を立てること。
- ③ 得点は男子6点制（1位6点・2位5点・……・5位2点・6位1点）、女子4点制（1位4点・2位3点・……・4位1点）とする。ただし男子5000mWにおいては4点制（1位4点・2位3点・3位2点・4位1点）とする。
- ④ 対校得点に関して、同点の場合は優勝種目の数で、それでも決定できない場合は2位入賞者数で、以下同様に3位入賞者数、…で順位を決定する。

14. 開閉会式について

- ① 開会式は7月31日の午前9時00分より大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場内で行うので、トラック上ホームストレート側に整列すること。ただし、フィールド内には入らないこと。
- ② 閉会式は競技終了後直ちに行うので、開会式と同様に整列すること。

15. その他

- ① 競技者の発病、負傷については応急処置のみをするものとする。
- ② 医務室は正面入り口を入れて左側に設置する。
- ③ 陸上競技場内では、夜間のテント設営は認められていないので必ず撤収すること。
- ④ 1日目が終わった後、やりやポールなどの大型で翌日使う競技用品は用器具庫に保管することができる。但し施錠はされるが破損や盗難等の被害について主催者は一切責任を負わない。